



日装連会議録

常任理事会

10月27日開催

日ID社内検定の実施状況確認

1・2級合わせて39名が受検

とし、今後の検討事項とした。
 ②叙勲受章について
 2025年度秋の叙勲受章について、日装連前理事長で現専務理事の小坂田達朗氏が日装連推薦としては約38年ぶりに受章される見込みであることが報告された。勳章は旭日小綬章となる予定。

③日ID社内検定の実施状況について
 9月10日に全国一斉で実施された学科試験に続き、10月20日～25日の期間で実技試験が実施され、全会場で満りなく終了したこと、が報告された。受検者が報告された。受検者は1・2級合わせて39名であった。採点作業は11月25・26日の2日間で本部検定委員によりおこなわれること、があわせて報告された。

①中間決算報告について
 2025年度上期が締まり、年度中間の決算報告が行われた。事務局より決算内容についての説明後、質疑応答が行われ承認がなされた。

②審議事項
 後の常任理事会であることから、内容についての最終確認が行われた。事務局より通じて、スケジュールの説明がなされ、最後に宮本理事長より締めのご挨拶を行われ共用がなされた。

③審議事項
 前述の事項に加え、その他複数の事項について慎重に審議がなされ、またあわせて懇親会の開催が行われた。事務局より決算内容についての説明後、質疑応答が行われ承認がなされた。

④審議事項
 ついても確認が行われた。

①臨時総会開催の承認に
審議事項

はじめに宮本理事長よりご挨拶が行われ、続いて会議次第に則り審議が行われた。

出席者とりモート出席者を合わせたハイブリッド形式にて、第2回理事会が開催された。

日装連は、10月27日(木)15時より日装連会議室に参集したリアル出席者とりモート出席者を合わせたハイブリッド形式にて、第2回理事会が開催された。

日装連は、10月27日(木)15時より日装連会議室に参集したリアル出席者とりモート出席者を合わせたハイブリッド形式にて、第2回理事会が開催された。

日装連は、10月27日(木)15時より日装連会議室に参集したリアル出席者とりモート出席者を合わせたハイブリッド形式にて、第2回理事会が開催された。

日装連は、10月27日(木)15時より日装連会議室に参集したリアル出席者とりモート出席者を合わせたハイブリッド形式にて、第2回理事会が開催された。

日装連は、10月27日(木)15時より日装連会議室に参集したリアル出席者とりモート出席者を合わせたハイブリッド形式にて、第2回理事会が開催された。

日装連は、10月27日(木)15時より日装連会議室に参集したリアル出席者とりモート出席者を合わせたハイブリッド形式にて、第2回理事会が開催された。

日装連は、10月27日(木)15時より日装連会議室に参集したリアル出席者とりモート出席者を合わせたハイブリッド形式にて、第2回理事会が開催された。

日装連は、10月27日(木)15時より日装連会議室に参集したリアル出席者とりモート出席者を合わせたハイブリッド形式にて、第2回理事会が開催された。

日装連は、10月27日(木)15時より日装連会議室に参集したリアル出席者とりモート出席者を合わせたハイブリッド形式にて、第2回理事会が開催された。

はじめに宮本理事長よりご挨拶が行われ、続いて会議次第に則り審議が行われた。

出席者とりモート出席者を合わせたハイブリッド形式にて、第2回理事会が開催された。

日装連は、10月27日(木)15時より日装連会議室に参集したリアル出席者とりモート出席者を合わせたハイブリッド形式にて、第2回理事会が開催された。

はじめに宮本理事長よりご挨拶が行われ、続いて会議次第に則り審議が行われた。

出席者とりモート出席者を合わせたハイブリッド形式にて、第2回理事会が開催された。

日装連は、10月27日(木)15時より日装連会議室に参集したリアル出席者とりモート出席者を合わせたハイブリッド形式にて、第2回理事会が開催された。

はじめに宮本理事長よりご挨拶が行われ、続いて会議次第に則り審議が行われた。

出席者とりモート出席者を合わせたハイブリッド形式にて、第2回理事会が開催された。

日装連は、10月27日(木)15時より日装連会議室に参集したリアル出席者とりモート出席者を合わせたハイブリッド形式にて、第2回理事会が開催された。

臨時総会の開催を承認

第235回理事会

10月27日開催

日装連は、10月27日12時30分より日装連会議室において常任理事会を開催した。

はじめに宮本理事長よりご挨拶が行われ、続いて会議次第に則り議論がなされた。

まず事務局より2025年度の上期ラベル支給実績について報告がなされた。

防炎ラベルについて、前年度との比較を交えて報告がなされた。

浩二氏が瑞宝双光章を長で日装連理事の村上光章、福岡組合前理事長で日装連副理事長の鈴木英治氏が旭日双

39名であった。採点作業は11月25・26日の2日間で本部検定委員によりおこなわれること、があわせて報告された。

今後は並行して次年度以降の受検者確保のため、変更承認がなされた。

報告をおこなうこと、があわせて報告された。

さるに第236回理事会において定款再変更がなされた。

宮本外次(理事長・石川)、関山豊光(副理事長・福岡)、鈴木英治(副理事長・愛知)、椎津雅夫(副理事長・東京)、竹内剛(副理事長・広島)、大石伸二(副理事長・大阪)、小坂田達朗(専務理事・大阪)、大和田謙介(事務局・日装連)

として11月6日の監査会にて承認後、同月18日に開催の第236回理事会および全国組合理事長会において、報告をおこなうこと、あわせて受章する見込みであることが報告された。

以降のスケジュールとして11月6日の監査会にて承認後、同月18日に開催の第236回理事会および全国組合理事長会において、報告をおこなうこと、あわせて受章する見込みであることが報告された。

さらに第236回理事会において定款再変更がなされた。

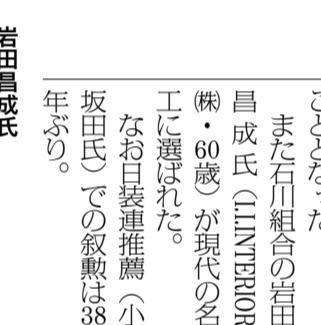
【出席者】宮本外次(理事長・石川)、関山豊光(副理事長・福岡)、仲島進功(理事・沖縄)、対馬英雄(監事・青森)、三島正治(監事・高知)、松山哲也(理事・外監事・NIF)

として11月6日の監査会にて承認後、同月18日に開催の第236回理事会および全国組合理事長会において、報告をおこなうこと、あわせて受章する見込みであることが報告された。

以降のスケジュールとして11月6日の監査会にて承認後、同月18日に開催の第236回理事会および全国組合理事長会において、報告をおこなうこと、あわせて受章する見込みであることが報告

令和7年度 秋の叙勲・褒章・現代の名工

旭日小綬章 小坂田達朗氏 (日装連)
 旭日双光章 鈴木 英治氏 (愛知)
 瑞宝双光章 村上 浩二氏 (福岡)
 瑞宝单光章 黒田 克彦氏 (三重)
 現代の名工 岩田 昌成氏 (石川)



建設マスター・ジュニアマスター

日装連から4名受賞

国土交通省は、10月28日(火)に文京シビックホールにて令和7年度優秀施工者大臣顕彰式典を開催し、優秀な技術・技能を持つ建設技能者(建設マスター)4名を表彰

丸山研司氏 (新潟)
 上林雅明氏 (広島)
 有賀優弥氏 (山形)
 上坂光司氏 (福井)

今回の受賞は、この道で約30年間やってき

た。このたびは建設マスターに選ばれ、とても光栄に思います。普段は床工事を中心に、ビニル床材などの施工を担当していま

す。大切に心がけています。プライドをもって仕事を続けてきました。後輩

および青年技能者(建設ジュニアマスター)119名を顕彰した。

日装連からは、建設マスターに丸山研司氏 (49歳・株富岡産業)、上林雅明氏 (52歳・竹内装飾㈱)、建設ジュニアマスターに有賀優弥氏 (35歳・有賀内装)、上坂光司氏 (32歳・有フェイス) の4名が顕彰された。

福井県で2例目の受賞ということで、とても光榮です。指導してくれた諸先輩方のように、丁寧で美しい仕事を磨き、後輩を育てます。

日装連は、10月31日13時30分より日本防炎協会会議室において宮本理事長同席のもと防火・施工管理委員会を開催した。

冒頭、今年度より公益財団法人日本防炎協会理事長に就任された清水洋文理事長、そして満田薦常務理事への表敬訪問が行われた。続いて近藤昭彦理事兼管理部長より近年の火災動向や防炎品を使用していくことによる

ラベル交付枚数の推移についての説明が行われた。委員全員で聽講され、活発な質疑応答が行われた。

引き続き会議室をお借りし本委員会を開催、竹内担当副理事長より挨拶が行われ、続いて白石委員長の挨拶後、会議次第に則り進めた。

防炎ラベルについては前年度上期対比で63%と昨年度ラベル値上げによる駆け込み需要があった影響で大きく前年割れ、一方の敷物ラベル、壁装ラベルについては前年度同対比で共に100%を少し

減った。その後、質疑応答、会計担当の山口氏からの補足説明が行われた。その後、質疑応答、会計担当の山口氏からの補足説明が行

われた。その後、質疑応答、会計担当の山口氏からの補足説明が行われた。その後、質疑応答、会計担当の山口氏からの補足説明が行

われた。その後、質疑応答、会計担当の山口氏からの補足説明が行われた。その後、質疑応答、会計担当の山口氏からの補足説明が行

われた。その後、質疑応答、会計担当の山口氏からの補足説明が行われた。

報告について
審議事項

日装連は、11月6日13時30分より日装連会議室において監事監査会を開催した。会議次第に則り事務局の進行で次の通り進められた。

報告事項として総務委員会・常任理事会を経て、本監事監査会で承認された中間決算報告は、11月18日開催の第236回理事会および全国組合理事長会に提出された。

出席者
対馬英雄 (青森)、中山和重 (滋賀)、島正治 (しまね)、石原猛志 (一般社団法人日本インテリア協会)、山口康一 (会計顧問)、酒井直子 (事務局・経理)、大和田謙介 (事務局)

各組合の導入動向調査へ

上回る結果となつたことが報告された。上期の結果を受けて、特に下期の防炎ラベルの動向を注視していくこととした。今後の検討事項

とが報告された。上期の結果を受けて、特に下期の防炎ラベルの動向を注視していくこととした。今後の検討事項

局長が講師として全国の各ブロック会を訪問して、今後も定期的にモートー、説明会を行っていた。説明会を受けた各組合の本システムの導入・進捗状況や課題点

について本年度末を目指して、各ブロック会を訪問して、今後も定期的にモートー、説明会を行っていた。説明会を受けた各組合の本システムの導入・進捗状況や課題点

について本年度末を目指して、各ブロック会を訪問して、今後も定期的にモートー、説明会を行っていた。説明会を受けた各組合の本システムの導入・進捗状況や課題点

について本年度末を目指して、各ブロック会を訪問して、今後も定期的にモートー、説明会を行っていた。説明会を受けた各組合の本システムの導入・進捗状況や課題点

について本年度末を目指して、各ブロック会を訪問して、今後も定期的にモートー、説明会を行っていた。説明会を受けた各組合の本システムの導入・進捗状況や課題点

について本年度末を目指して、各ブロック会を訪問して、今後も定期的にモートー、説明会を行っていた。説明会を受けた各組合の本システムの導入・進捗状況や課題点

ラベル申請システム

①2025年度上期ラベル支給枚数実績について
まず事務局より2025年度の上期ラベル支給枚数について、前年度との比較を交えて報告がなされた。

②各ブロックにおける防火施工管理ラベル申請システム説明会の進捗状況について
統いて事務局より今年度実施を推進していく

2025年度中間決算を承認
監事監査会 11月6日開催

報告について
審議事項

日装連は、11月6日13時30分より日装連会議室において監事監査会を開催した。会議次第に則り事務局の進行で次の通り進められた。

報告事項として総務委員会・常任理事会を経て、本監事監査会で承認された中間決算報告は、11月18日開催の第236回理事会および全国組合理事長会に提出された。

出席者
対馬英雄 (青森)、中山和重 (滋賀)、島正治 (しまね)、石原猛志 (一般社団法人日本インテリア協会)、山口康一 (会計顧問)、酒井直子 (事務局・経理)、大和田謙介 (事務局)

It's a BEAUTIFUL DAY
ファブリーズ カーテンのある暮らし
2025.9 Debut!
ファブリーズ カーテン
アスワン株式会社 本社/〒550-0015 大阪市西区南堀江1丁目11番1号 TEL 06-6532-0171
URL https://www.aswan.co.jp
※米国P&G社の商標「ファブリーズ」はライセンス契約に基づき使用されています。

住宅リフォームにおいて、生活者から要望を丁寧に聴き取りベストプランを提案することは非常に重要です。しかし、いざ打ち合わせとなると表面的なやり取りに終始し、本当に必要とされているニーズが見えてこない

— そんな声を耳にします。実際、多くのお客様は「どうぞどう変えたいのか」までは漠然と

考えても、「なぜそうしたいのか」「なぜ

想の暮らしどとは何か」といった深い部分まで

は明確に言語化できていません。ここで有効

になるのが、「コーチング型ヒアリング」と

いう手法です。コーチングとは、もともとビジネスや教育

の現場で活用されてきた対話技術で、「答え

は相手の中にある」と

いう考え方を基盤としています。

コーチング型ヒアリ

ングでは、ただ情報を聞き出すのではなく、お客様自身が考

え感情を深められるよう質問を投げかけな

がら、潜在的なニーズや価値観を一緒に見つけていきます。たとえば「リビングの壁紙を新しくしたい」という

要望に対し、「それはどんな時に感じました

か?」「理想のリビング

グって、どんなふうに使いたいですか?」とい

った質問を通じて、お客様の背景にある思

いやライフスタイルを

専門的で難しい印象を持たれるかもしれません

が、基本的な考え方と質問の型さえ押さえれば、誰でも今日から実践可能です。まずは、次のような「問いかけ」を意識してみましょう。

「どんな時に不便を感じていますか?」(現状の課題を引き出す)。

「それが気になるのはなぜですか?」(感情や価値観を探る)。

「理想の暮らしを言

うことですか?」(ビジョ

ンを明確にする)。

「つまり○○ということですね?」(相手の言葉をまとめて返す)。

これらの質問を通じて、お客様自身も気づいていかなかった想いや

こだわりが明らかになります。

「本当に望んでいたり

フーム」に近づくことができます。

工事の質や提案の巧みさももちろん大切ですが、最終的にお客様が「この人に任せたい」と感じるかどうかは、コミュニケーションの質に大きく左

右されます。コーチング型ヒアリングは、壳

り込みや説得ではなく、相手の話に寄り添いながら対話を重ね、姿勢そのもの。一度

行ってみると、打ち合

わせの雰囲気が変わ

り、お客様との距離が

グッと縮まることを

実感できます。

お客様が言葉にしきれい「声なき声」に

耳を傾ける。その姿勢が、信頼と満足を生み

結果として長く続ぐご縁につながるのではないか

でしょう。

今年度の日リ協の活動テーマは「品質!

追及!!」です。すべての仕事の品質向上は限

りない課題と捉え、会員の皆様が発展してま

ります。

工事の質や提案の巧みさももちろん大切ですが、最終的にお客様が「この人に任せたい」と感じるかどうかは、コミュニケーションの質に大きく左

右されます。コーチング型ヒアリングは、壳

り込みや説得ではなく、相手の話に寄り添いながら対話を重ね、姿勢そのもの。一度

行ってみると、打ち合

わせの雰囲気が変わ

り、お客様との距離が

グッと縮まることを

実感できます。

お客様が言葉にしきれい「声なき声」に

耳を傾ける。その姿勢が、信頼と満足を生み

結果として長く続ぐご縁につながるのではないか

でしょう。

今年度の日リ協の活動

テーマは「品質!

追及!!」です。すべての仕事の品質向上は限

りない課題と捉え、会員の皆様が発展してま

ります。

工事の質や提案の巧みさももちろん大切ですが、最終的にお客様が「この人に任せたい」と感じるかどうかは、コミュニケーションの質に大きく左

右されます。コーチング型ヒアリングは、壳

り込みや説得ではなく、相手の話に寄り添いながら対話を重ね、姿勢そのもの。一度

行ってみると、打ち合

わせの雰囲気が変わ

り、お客様との距離が

グッと縮まることを

実感できます。

お客様が言葉にしきれい「声なき声」に

耳を傾ける。その姿勢が、信頼と満足を生み

結果として長く続ぐご縁につながるのではないか

でしょう。

今年度の日リ協の活動

テーマは「品質!

追及!!」です。すべての仕事の品質向上は限

りない課題と捉え、会員の皆様が発展してま

ります。

工事の質や提案の巧みさももちろん大切ですが、最終的にお客様が「この人に任せたい」と感じるかどうかは、コミュニケーションの質に大きく左

右されます。コーチング型ヒアリングは、壳

り込みや説得ではなく、相手の話に寄り添いながら対話を重ね、姿勢そのもの。一度

行ってみると、打ち合

わせの雰囲気が変わ

り、お客様との距離が

グッと縮まることを

実感できます。

お客様が言葉にしきれい「声なき声」に

耳を傾ける。その姿勢が、信頼と満足を生み

結果として長く続ぐご縁につながるのではないか

でしょう。

今年度の日リ協の活動

テーマは「品質!

追及!!」です。すべての仕事の品質向上は限

りない課題と捉え、会員の皆様が発展してま

ります。

工事の質や提案の巧みさももちろん大切ですが、最終的にお客様が「この人に任せたい」と感じるかどうかは、コミュニケーションの質に大きく左

右されます。コーチング型ヒアリングは、壳

り込みや説得ではなく、相手の話に寄り添いながら対話を重ね、姿勢そのもの。一度

行ってみると、打ち合

わせの雰囲気が変わ

り、お客様との距離が

グッと縮まることを

実感できます。

お客様が言葉にしきれい「声なき声」に

耳を傾ける。その姿勢が、信頼と満足を生み

結果として長く続ぐご縁につながるのではないか

でしょう。

今年度の日リ協の活動

テーマは「品質!

追及!!」です。すべての仕事の品質向上は限

りない課題と捉え、会員の皆様が発展してま

ります。

工事の質や提案の巧みさももちろん大切ですが、最終的にお客様が「この人に任せたい」と感じるかどうかは、コミュニケーションの質に大きく左

右されます。コーチング型ヒアリングは、壳

り込みや説得ではなく、相手の話に寄り添いながら対話を重ね、姿勢そのもの。一度

行ってみると、打ち合

わせの雰囲気が変わ

り、お客様との距離が

グッと縮まることを

実感できます。

お客様が言葉にしきれい「声なき声」に

耳を傾ける。その姿勢が、信頼と満足を生み

結果として長く続ぐご縁につながるのではないか

でしょう。

今年度の日リ協の活動

テーマは「品質!

追及!!」です。すべての仕事の品質向上は限

りない課題と捉え、会員の皆様が発展してま

ります。

工事の質や提案の巧みさももちろん大切ですが、最終的にお客様が「この人に任せたい」と感じるかどうかは、コミュニケーションの質に大きく左

右されます。コーチング型ヒアリングは、壳

り込みや説得ではなく、相手の話に寄り添いながら対話を重ね、姿勢そのもの。一度

行ってみると、打ち合

わせの雰囲気が変わ

り、お客様との距離が

グッと縮まることを

実感できます。

お客様が言葉にしきれい「声なき声」に

耳を傾ける。その姿勢が、信頼と満足を生み

結果として長く続ぐご縁につながるのではないか

でしょう。

今年度の日リ協の活動

テーマは「品質!

追及!!」です。すべての仕事の品質向上は限

りない課題と捉え、会員の皆様が発展してま

ります。

工事の質や提案の巧みさももちろん大切ですが、最終的にお客様が「この人に任せたい」と感じるかどうかは、コミュニケーションの質に大きく左

右されます。コーチング型ヒアリングは、壳

り込みや説得ではなく、相手の話に寄り添いながら対話を重ね、姿勢そのもの。一度

行ってみると、打ち合

わせの雰囲気が変わ

り、お客様との距離が

グッと縮まることを

実感できます。

お客様が言葉にしきれい「声なき声」に



名畠プロック長。日装連先駆者に感謝の念を

これまで全国の都道府県組合を取り組し、現在取り組んでいる事業や今後の方向性などを紹介してきた。しかしながら、内装・インテリア業界においてさまざまな課題が顕在化する中で、組合単体だけではなく、より大きな枠組みで対すべき事案が増えてきた。

…

そこで今号では、新しい切り口として東北ブロックの活動を紹介したい。

昨年より東北ブロックのブロック長を務める福島組合の名畠昭一理事長に、東北ブロックの取り組みや今後の展望について語っていただきました。

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…